どんな線？どんな形？

ねらい：物を使って描きながら、様々な形を楽しむ。

作成日：2025年9月11日
対象児：4歳さくら組
作成者：吉岡愛佳

～振り返り～

製作の準備、活動の準備をしていると「何しよん？」「何に使うん？」「何か作るん？」と色々な事に興味津々な子ども達の姿がよく見られます。

朝の自由遊び後、私の「ものさし」を机に置き忘れていたところ、「これ何？」「何に使うん？」とその日も興味津々な姿が見られた。「ものさしって言うんだよ」「線を真っ直ぐ引くものだよ」と言葉のみだとあまりピンと来ている感じではなく、「こうやって使うんだよ」と何気なくお部屋のホワイトボードに線を引いてみた。すると、近くにいた周りの子ども達も「わぁ～」「すごい！」と興味が見られた。プリント活動でも〇△□の線をなぞったり、色を塗ったり、3種類の形を使って絵を描く機会があり、形に触れることが増えている。色々な形や線を使っての技法など楽しく発見できたらいいなと思い、自由遊びのお絵描きコーナーにものさしも色鉛筆と一緒に置いてみた。すると、線を引いて四角を描いてみたり、線を格子状に引いてみたり、ものさしを画用紙に並べてみる姿も見られた。ただまっすぐの線を引くものさし以外にも、もっと他の形があれば面白いかなと思い、違う日には三角定規と分度器も置いてみた。すると、「かして」「いいよ」とお友達とやり取りをしながら、三角で蝶々を描いてみたり、半円形と三角で顔を描いてみたり、ものさしに開いている色々な大きさの丸を使って雲や太陽、車を描くなど、子ども達の想像力の広さに驚かされるほど、形を楽しみながらお絵描きする姿がありました。

遊びの中で、興味関心を深めたりいろんな発見ができるような工夫をしていき、また、子ども達の疑問や発見に気づき、寄り添っていきたいと思います。（協同性、言葉による伝え合い、思考力の芽生え、数量や図形・文字等への関心・感覚、豊かな感性と表現）